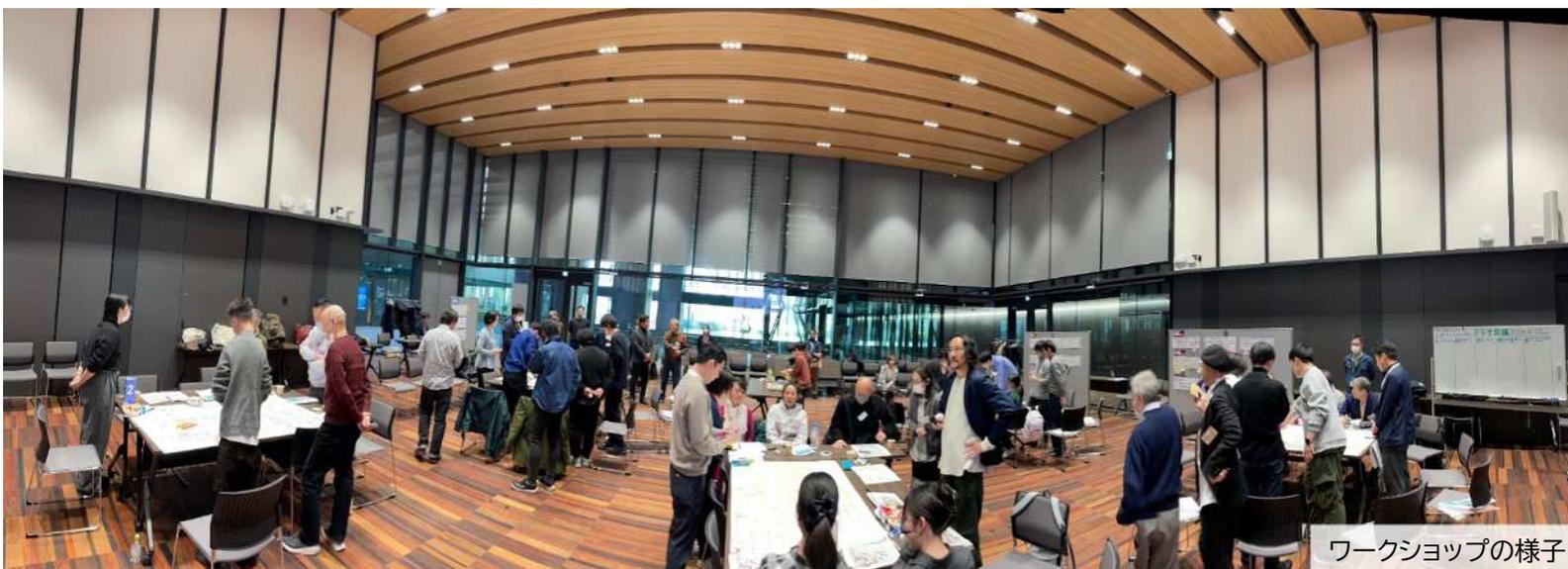


川崎市総合計画改定に向けた市民ワークショップ 「川崎のこれからを描く『ミライ会議』」の 実施結果について

令和7(2025)年5月
川崎市

1 概要

- 令和7(2025)年度の「川崎市総合計画」改定に向けて、市民の皆さまの意見をお聴きするための、市民ワークショップ「川崎のこれからを描く『ミライ会議』」を実施しました。
- 「ミライ会議」では、様々な立場の市民の皆さまが、10年後の川崎がこうなっていたらいいなというアイデアや将来像について議論いただきました。
- いただいた意見につきましては、計画改定の参考とするなど、今後の改定作業に活かしていきます。



ワークショップの様子

2 開催状況

(1)開催状況

開催エリア	会場	日程	参加者数
南部エリア (川崎区・幸区)	本庁舎復元棟会議室	令和6年11月16日(土) 14:00-17:00	31名
中部エリア (中原区・高津区・宮前区)	高津区役所会議室	令和6年12月14日(土) 14:00-17:00	21名
北部エリア (多摩区・麻生区)	麻生区役所会議室	令和7年 1月25日(土) 14:00-17:00	29名
子ども会議	川崎市こども夢パーク	令和7年 1月12日(日) 13:00-15:00	10名
まとめ回	本庁舎2階ホール	令和7年 2月24日(月) 14:00-16:30	30名

- *18歳以上の市民4,800名を無作為抽出して案内
- *市内在学、在勤者として市立高校、専修大学、SDGsパートナー企業へも案内
- *参加者数は当日欠席となった者を除く実参加者数

▶ **延べ121名が参加**

2 開催状況

(2)参加者の属性等

(人)

南部エリア	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	その他	
川崎区	3		1	3	3	3	市立高校 1 専修大学 3 SDGsパトナー 2	
幸区	1	3	1	4	2			
多摩区	1							
計	5	3	2	7	5	3	6	計31人 参加

中部エリア	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	その他	
中原区	2	1		2		3	SDGsパトナー 3	
高津区	1		1	2	1	1		
宮前区	2				1	1		
計	5	1	1	4	2	5	3	計21人 参加

北部エリア	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	その他	
多摩区		3		2		3	専修大学 1 SDGsパトナー 4	
麻生区	1	1		4	6	4		
計	1	4		6	6	7	5	計29人 参加

子ども会議	小学生	中学生	高校生	
計	6	2	2	計10人 参加

まとめ回	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	その他	
川崎区			1		1		子ども会議 5 SDGsパトナー 7	
幸区	1	2	1	2				
中原区	1	1		1		2		
高津区								
宮前区	1							
多摩区								
麻生区				1	1	2		
計	3	3	2	4	2	4	12	計30人 参加

2 開催状況

(3) テーマ

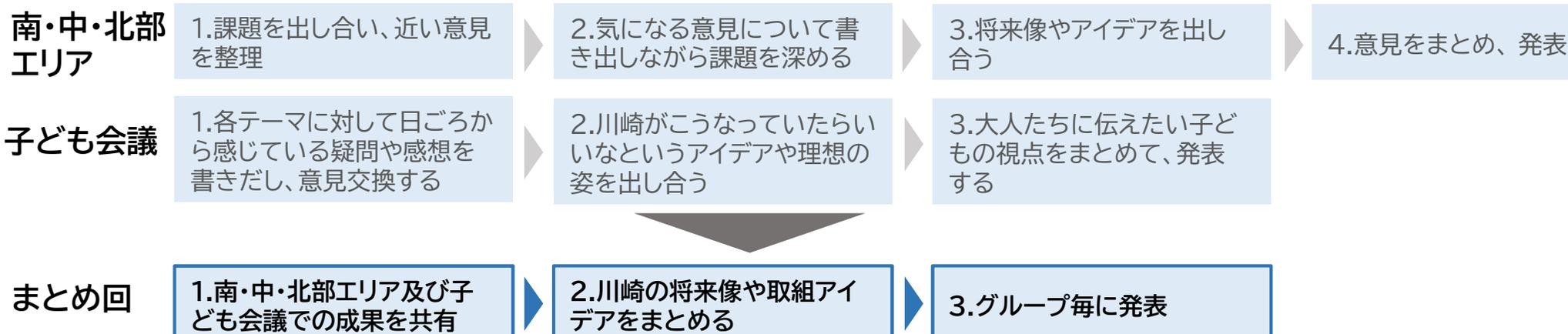
南・中・北部エリアでのテーマ

- ①「自助・共助・公助」で考える災害に強いまちづくり
- ②超高齢社会の中で生き生きと暮らせるまちづくり
- ③地域全体で支える、安心して子育てできるまちづくり
- ④気候変動等を踏まえた環境にやさしいまちづくり
- ⑤産業、スポーツ、観光資源、文化・芸術を活かした魅力的なまちづくり

子ども会議でのテーマ

- ①子どもが考える地震や災害の備えてなに？
- ②子どもが住みたくなるまちに大切なことはなんだろう？
- ③みんなで環境を守るためのGOODなアクションってなに？

<参考> 各ワークショップの進行方法



3 市民の皆様からいただいた主な意見(まとめ回)

(10年後の川崎がこうなっていたらいいなというアイデアや将来像)

テーマ1 「自助・共助・公助」で考える災害に強いまちづくり (子ども会議 子どもが考える地震や災害の備えてなに?)

- バーチャルとリアル両方で避難訓練をする。
- 災害時にみんながフラットに情報にアクセスできるプラットフォームを整備する。
- 防災マスター制度をつくり、災害時のリーダーを育成する。
- 地元企業を通じて、高齢者や子どもへの支援を実施する。



■テーマ1のワークショップの様子



■テーマ1の意見をまとめた模造紙

3 市民の皆様からいただいた主な意見(まとめ回) (10年後の川崎がこうなっていたらいいなというアイデアや将来像)

テーマ2 超高齢社会の中で生き生きと暮らせるまちづくり

- 必要な情報を分かりやすく届ける。
- 高齢者になる前の人も含め、健康寿命を延ばす仕組みをつくる。
- 財政面での不安なく、介護サービスが維持できる工夫を行う。



■テーマ2のワークショップの様子



■テーマ2の意見をまとめた模造紙

3 市民の皆様からいただいた主な意見(まとめ回)

(10年後の川崎がこうなっていたらいいなというアイデアや将来像)

テーマ3 地域全体で支える、安心して子育てできるまちづくり (子ども会議 子どもが住みたくなるまちに大切なことはなんだろう?)

- 子どもが行きやすい場所をつくる。
- 誰でも何でも相談できる場所をつくる(相談ができる場所は目立たないようにする)。
- 大人と子どもが頼り合い、支え合う。



■テーマ3のワークショップの様子



■テーマ3の意見をまとめた模造紙

3 市民の皆様からいただいた主な意見(まとめ回)

(10年後の川崎がこうなっていたらいいなというアイデアや将来像)

テーマ4 気候変動等を踏まえた環境にやさしいまちづくり (子ども会議 みんなで環境を守るためのGOODなアクションってなに?)

- 街路樹や公園の花壇、農地の増加など、多様な手段で緑化を進める。
- みんなの環境意識を向上させる。
- 最先端技術を活用してCO₂を削減する。



■テーマ4のグループ発表の様子



■テーマ4の意見をまとめた模造紙

3 市民の皆様からいただいた主な意見(まとめ回) (10年後の川崎がこうなっていたらいいなというアイデアや将来像)

テーマ5 産業、スポーツ、観光資源、文化・芸術を活かした魅力的なまちづくり

- 資源や主体の連携により点在するイベントを連携して、活動を広げる。
- 似たジャンルのイベントをつないで、回遊を促す。
- 文化・スポーツなどジャンルを超えたブランド化を進める。
- 住民・企業・行政が連携してブランド化を進める。



■テーマ5のグループ発表の様子



■テーマ5の意見をまとめた模造紙

3 市民の皆様からいただいた主な意見(まとめ回) (10年後の川崎がこうなっていたらいいなというアイデアや将来像)

参考



■市長講評の様子



■まとめ回の参加者全員の集合写真